

平成 17 年度気候講演会（東京）の開催について

気象庁は、地球環境問題に関する最新の科学的知見やその対策などについての知識を深めていただくために、「気候講演会」を平成元年から毎年、日本各地で開催しており、今年度 2 回目となる気候講演会を東京で開催いたします。

本講演会では、気象庁より異常気象、地球温暖化の実態や将来予測を紹介するだけでなく、首都圏で顕著となっているヒートアイランドや、一人ひとりが地球温暖化防止のためにどのように取り組んだら良いのかなど、気象庁外の専門家の方から広く地球環境に関する講演を行っていただきます。

講演会への入場は無料となっておりますので、多くの方の申し込みをお待ちしております。

記

1 期日

平成 18 年 1 月 21 日（土）午後 2 時～5 時（午後 1 時 30 分開場）

2 場所

科学技術館サイエンスホール(千代田区北の丸公園2-1)

地下鉄東西線「竹橋」1b出口 徒歩7分

地下鉄半蔵門線・都営新宿線「九段下」2出口 徒歩7分

3 実施体制

(1) 主催 気象庁

(2) 後援 文部科学省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、環境省、
東京都、神奈川県、全国地球温暖化防止活動推進センター、
(社)日本気象学会、(財)日本気象協会、(財)気象業務支援センター

4 実施内容

タイトル：「地球温暖化と異常気象」

講演：○地球温暖化と都市の高温化～深刻化する東京のヒートアイランド～

首都大学東京 都市環境学部 教授 三上 岳彦

○地球温暖化は異常気象にどのような影響を与えるのか

気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課長 栗原 弘一

○地球温暖化防止のためにわたしたちができること

全国地球温暖化防止活動推進センター 桃井 貴子

入場料：無料

定員：400名（事前申込制）

申し込み先：FAX 03-3211-8309

E-mail houki_tikyu@met.kishou.go.jp

（お名前、参加人数をお知らせください）

本件問い合わせ先 気象庁地球環境・海洋部地球環境業務課 計画係

0 3 - 3 2 1 2 - 8 3 4 1（内 4 2 2 5）

気候講演会

「地球温暖化と異常気象」



○地球温暖化と都市の高温化 ～深刻化する東京のヒートアイランド～

首都大学東京 都市環境学部 教授 三上 岳彦

○地球温暖化は異常気象にどのような影響を与えるのか

気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課長 栗原 弘一

○地球温暖化防止のためにわたしたちができること

全国地球温暖化防止活動推進センター 桃井 貴子



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

気象庁はチーム・マイナス6%に参加しています

日時：平成18年1月21日（土）14時開演（13時30分開場）

会場：科学技術館サイエンスホール

（東京都千代田区北の丸公園2-1）

交通：地下鉄東西線「竹橋」1b出口 徒歩7分

地下鉄半蔵門線・都営新宿線「九段下」2出口 徒歩7分

（温室効果ガスを削減するため公共交通機関をご利用ください）

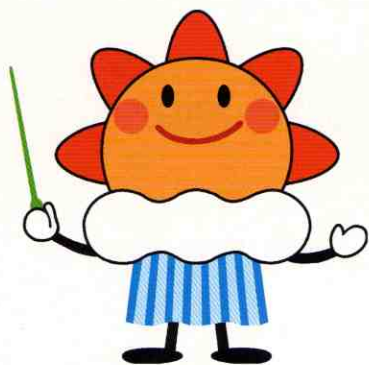
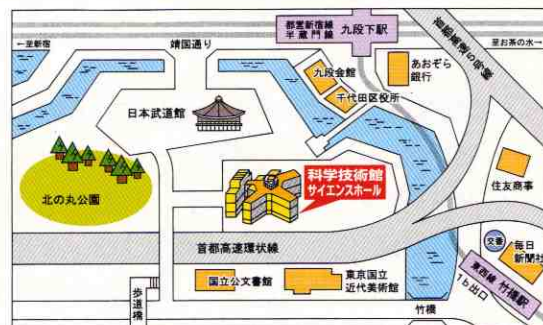
入場無料

定員：400名（事前申込制）

申し込み先：FAX 03-3211-8309（裏面の申し込み用紙をご利用ください）

E-mail houki_tikyu@met.kishou.go.jp

（お名前、参加人数をお知らせください）



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

お問い合わせ

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課

03-3212-8341（内線4225） <http://www.jma.go.jp>

主催：気象庁

後援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、神奈川県、全国地球温暖化防止活動推進センター、（社）日本気象学会、（財）日本気象協会、（財）気象業務支援センター

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK
Trademark of American Soybean Association

講演概要

地球温暖化と都市の高温化 ～深刻化する東京のヒートアイランド～

首都大学東京 都市環境学部 教授 三上 岳彦

過去100年間に、地球の平均気温は約0.6℃上昇していますが、東京都心部の年平均気温は同じ期間に約3.0℃も上昇しています。都市が高温化する要因は、第一にエネルギー使用量の増大による人工排熱の増加で、これは都市の大気を直接加熱してヒートアイランドを強めます。第二は、都市の表面（地表面、建物など）の人工化と自然被覆（森林や緑地、水辺など）の減少による熱収支の変化で、これが都市の高温化に拍車をかけています。地球温暖化にヒートアイランドが重なることで、都市は今後ますます暑くなり、局地的豪雨の頻発や夏季熱中症患者数の増大が懸念されます。温暖化の実態とメカニズム、人間社会への影響について、データにもとづいて解説します。

地球温暖化は異常気象にどのような影響を与えるのか

気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課長 栗原 弘一

近年、これまでになく気温の高い状態が世界的に続いています。世界的な気温の上昇に伴い大雨など異常気象の増加が懸念され、地球温暖化をはじめとする気候変動は人類にとってその存在基盤をも脅かしかねない深刻な問題の一つとして認識されています。気象庁は異常気象や地球温暖化に関する最新の科学的知見を「異常気象レポート」として提供しています。平成17（2005）年10月には、その第7巻目となる「異常気象レポート2005」を公表しました。本講演では、同レポートの内容から、異常気象と地球温暖化の関係に焦点をあて、気温が上昇し、大雨が増えている実態や今後予測される気温や降水量などの気候の変化について紹介します。

地球温暖化防止のためにわたしたちができること

全国地球温暖化防止活動推進センター 桃井 貴子

地球温暖化問題が深刻化しているのはわかっていますが、どこか遠い世界のように感じているということはないでしょうか？しかし、この問題は一人ひとりが真剣に受け止めて行動に移さない限り解決への道はありません。では、いったい地球温暖化防止のために、私たちに何ができるのでしょうか？

地球温暖化は二酸化炭素やフロンなどの温室効果ガスの排出が原因です。日本人は一人あたりの二酸化炭素排出量が世界第三位と非常に多く、その大もとは工場、家庭、あるいはクルマからの排出が多いのです。ここでは実際に、各地域での地球温暖化防止対策を進めている具体的な事例をいくつかご紹介し、また一人ひとりの生活の中でも、家庭の中でできる地球温暖化防止対策をご紹介したいと思います。

-----（切り取らずにそのまま送信してください）-----

気候講演会「地球温暖化と異常気象」参加申込書（FAX用：03－3211－8309）

代表者のお名前

お住まいの市区町村

電話番号

—

—

参加人数

名